

## 地方都市行政調査 報告書

委員会	総務委員会		
調査年月日	平成29年10月25日(水)	調査場所	静岡県 浜松市
委員	委員長 古性重則 副委員長 前野和男 副委員長 ぬかが和子 委員 せぬま剛 委員 渡辺ひであき 委員 長井まさのり 委員 おぐら修平		

調査項目	(1) 浜松市地震・津波対策アクションプログラムについて
調査の目的	浜松市における地震・津波対策についての取り組みや課題等を研究し、当区における施策の参考とする。
調査内容	<p>静岡県は阪神・淡路大震災により建物被害が多かったことを加味し第3次地震被害想定を作成したが、その後に東日本大震災が発生し、津波災害を加味した第4次地震被害想定を作成した。それを基に浜松市では地震・津波対策アクションプログラムを作成し、その中では、人命を守ることを最も重視し、地震・津波対策をハード・ソフトの両面から可能な限り組み合わせることで充実・強化することにより、想定される被害をできる限り軽減すること、「減災」を目指すこととした。</p> <p>ハード面としては、住宅の耐震化をはじめとし、家具固定の促進、防潮堤の整備や津波避難施設として、大規模マウンドや津波避難タワーの整備など様々な取り組みを行っている。特に、家具の固定に関しては、民生・児童委員が直接、市民に働き掛けを行うなど、顔の見える繋がりを重視し、促進に努めている。</p> <p>ソフト面としては、受援体制の強化や自主防災隊の育成、避難所の運営体制の充実・強化等の取り組みを行っている。その中でも、浜松市は個々の自主防災隊に防災知識や訓練内容の習得を行うことは困難なことも多いことから、自主防災隊連合会を設置し、各隊との横のつながりを強化することにより、市民により広く防災知識を教示していくことに尽力している。こうした、津波対策をはじめ、建物被害、火災等の広範な地震対策の行動指標を策定することにより、被害をできる限り軽減し、一人でも多くの市民の命を守るための取り組みや課題などを調査した。</p>
主な質疑	<p>(問)家具固定器具の取付作業の補助はどのくらいの期間を設けてやっているのか。</p> <p>(答)通年でやっている事業なので、いつでも申込みは可能である。申請があった翌月には設置できるように対応している。</p> <p>(問)垂直避難に関して、マンション等の既存施設の屋上や階段を避難施設として利用することに反発はなかったか。</p> <p>(答)なかったわけではないが、建物の3階を避難施設として使用できるようにすれば、津波避難施設の整備費の補助金を市から支出したり、市街化調整区域では建物の高さ制限があるが、津波避難ビルに指定すればそれを緩和するなどし、事業者からの了承を得ることに努めた。</p> <p>(問)被災地に応援に来たボランティアを調整する窓口はどこか。</p> <p>(答)社会福祉協議会が本部となり、受入れ・派遣の窓口を一元化している。</p>
委員長所見・区政に活かせる点等	浜松市では、多くの市民の命を守ることを大前提とし、建築物の耐震化や避難施設の整備、防災知識の啓発等、減災に取り組む積極的な姿勢がうかがえた。当区においても大規模地震が発生した際には甚大な被害が想定されることから、区民への災害に対する意識醸成等、本市の取り組みを参考に推進して参りたい。

## 地方都市行政調査 報告書

委員会	総務委員会		
調査年月日	平成29年10月26日(木)	調査場所	大阪府 池田市
委員	委員長 古性重則 副委員長 前野和男 副委員長 ぬかが和子 委員 せぬま剛 委員 渡辺ひであき 委員 長井まさのり 委員 おぐら修平		

調査項目	(1)新・人材育成基本方針について
調査の目的	池田市における多様化する社会ニーズの中で活躍できる職員を育成するための取り組みや課題等を研究し、当区における施策の参考とする。
調査内容	<p>池田市では、全国の例と同様、職員数が減少していき、さらには、外部委託が進むことで非正規職員の割合が約半数となり、職員構成に大きな変化が生じた。そうした中、行政サービスにおける知見を持ちつつも民間セクターを管理できるような人材が必要となり、人材育成基本方針の改定が余儀なくされた。改定にあたっては庁内公募で研究員を募り、有識者を加えた研究会を発足し、さらに、様々なゲストスピーカーを呼び、議論を重ねていくことで、新・人材育成基本方針が策定された。</p> <p>その中でも池田市で初の取り組みとなるのが、自分たちのまちを自分たちでつくることを目的とし、小学校区ごとに住民が予算提案権を持ち、地域内の課題抽出・解決を検討する地域分権制度である。これにより、地域住民とともに行政を進める重要な担い手となる意欲と能力を兼ね備えた職員を育成した。</p> <p>また、この基本方針では、人事評価制度にも力を入れており、評価にあたっては数値化方式を取り入れている。能力評価では各種評価項目を定め、達成できない場合は減点し、特に求められる行動項目を行った場合は加点するとしている。業績評価においては目標レベルと達成度に応じて定められた点数で評価を行うとする。これにより、困難な仕事を標準的に行うよりも、標準的な仕事において質の良いものを生み出すことのほうが高く評価されるなど、職員の職務に取り組む意欲へもつながった。こうした、行政を進める重要な担い手となる意欲と能力を兼ね備えた職員の育成に関する取り組みや課題などを調査した。</p>
主な質疑	<p>(問)複線型人事を考えたことはあるか。</p> <p>(答)意識はしているのだが、複線型人事を行うには当市では職員数が小規模すぎると考えるため、行うには難しいと思われる。</p> <p>(問)研修の受講履歴の自己管理を行っているとのことだが、それをやるようになって職員の意識に変化はあったか。</p> <p>(答)受講履歴を自己管理させ、自分の行っていることに責任を持ってもらうことで、成長するためには自学が大切だという意識を職員は持つようになった。</p> <p>(問)職員の評価は誰がやるのか。</p> <p>(答)職員の数が多い所属だと所属長の負担が大きくなるため、より近くで普段の業務を見ている係長級を第一次評価者に設定している。</p>
委員長所見・区政に活かせる点等	当区でも外部委託を進めている中、自治体職員に高度な知識やノウハウが必要とされるのは池田市と同様であり、職員の研修制度や人事のあり方に関して大変参考になった。当区においても、個々の職員の能力を高め、課題解決に向けて複数の解決策を提案・実践できる職員を育成し、更なる区政発展を目指して参りたい。

## 地方都市行政調査 報告書

委員会	総務委員会		
調査年月日	平成29年10月27日(金)	調査場所	大阪府 大阪市
委員	委員長 古性重則 副委員長 前野和男 副委員長 ぬかが和子 委員 せぬま剛 委員 渡辺ひであき 委員 長井まさのり 委員 おぐら修平		

調査項目	(1) 大阪市立阿倍野防災センターについて
調査の目的	大阪市における体験活動を通じた防災教育施設についての取り組みや課題等を研究し、当区における施策の参考とする。
調査内容	<p>以下の内容について、施設を見学した。</p> <p>市立阿倍野防災センターは、阿倍野防災拠点施設(あべのフォルサ)内の3階にある施設であり、平成16年5月に、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、「体験型防災学習施設」として開館した。地域防災計画において、大規模地震の発生直後に全ての災害応急対策を防災関係機関だけで実施することは困難であるということ为前提に、自らの命は自らで守る、自らの地域は自らで守るため、市民や企業が普段から備えるべきこと、防災関係機関と市民組織や企業・団体などが分担・協力して実施すべき災害対策、地域における高齢者や障がい者などの救援を要する者への助け合いの精神を重点とした防災教育を実施している。</p> <p>中には、市民の防災に関する意識の啓発、知識の習得、初動措置に関する技術の習得を目的とする「防災体験学習エリア」と、災害時に人々を組織するリーダーを育成するため、より専門的な防災学習・訓練を行う「防災研修訓練エリア」の2つがある。</p> <p>防災体験学習エリアでは、地震で崩れ落ちた街中を「煙中コーナー」、「初期消火コーナー」、「119番通報コーナー」などの体験を通していき、地震により崩壊した街並みを歩くことで、地震や火災などの災害時に必要な行動をわかりやすく学ぶことができる。中でも、「火災発生防止コーナー」では、地震発生後の室内が再現されており、ガスコンロやブレイカーなど、そのまま放置してしまうと火災発生の危険性があるところを実際に電源を切りながら回ることができ、実生活の中で地震が起きた際の対応に生かせるようなものとなっている。</p> <p>防災研修訓練エリアでは、防災研修室、防災設備室、総合訓練室等があり、消防用設備等に関する研修や、防火管理者・防災センター要員講習など、体系的な学習により防災のエキスパートとして期待される人々のリーダーシップを高める研修を行うことができる場所となっている。ここでは、「防火・防災管理講習」や「普通救命講習」などの防災に関する講習会が開かれる他、防災設備室では火災時に必要な総合的な行動シミュレーション(消火活動・避難誘導など)を行うことができ、さらに、総合訓練室では建物で実際に使用されている各種消防用設備等が展示されており、構造及び作動状況などの学習ができる。</p> <p>このような疑似体験や講習会等を通し、市民の防災能力の向上を図り、災害に強い「人と組織」づくりを目的とした防災学習施設について調査した。</p>